

警察庁によると、2024年の特殊詐欺の認知件数は2万987件と前年比で1949件増加、被害額も721億5000万円で前年比269億円増加しました（暫定値）。被害は大都市圏

に集中しており、東京の3

494件、次いで大阪、神奈川、埼玉、愛知、兵庫、千葉の順となっていています。手口は、オレオレ詐欺が6671件、次いで架空料金請求詐欺、還付金詐欺、預貯金詐欺、キャッシング

特殊詐欺の発生状況

カード詐欺盗の順で多く、被害者の65・4%が65歳以上の高齢者（法人被害を除く）です。また、被害金交付形態別では、振込型が1万1048件、次いでキャッシングカード手交・

窃取型、現金手交型、電子マネー1型、現金送付

型の順です。被害の8割近くは犯人からの電話を受けることに端を発しているため、知らない番号の電話には出ないことが肝要です。

防犯一口メモ